

上野小が陶板制作  
**上野地区ならではの卒業制作づくり**

上野小6年生9人が11月11日、上野焼協同組合の作家から直接指導を受けながら、卒業制作の「上野焼陶板づくり」を行いました。事前に調べたそれぞれの誕生花を作家たちの優しい指導で掘り進めていった子どもたち。これまでの思いを馳せながら、上野小での最後の思い出づくりを丁寧に進めていました。



↑ ぼみ掘りの作業に戸惑う林彩羅さんにコツを伝授する堀田窯・世良萌久美さん。

↓ 冬季練習でさらなる力をつけるため精を出す梅田真之介くん④と栗原悠人くん。



福岡県中学校新人体育大会陸上競技大会  
**急成長の2人のスプリンターが県大会出場**

新人陸上大会筑豊大会で赤池中陸上部の梅田真之介くん(2年)が男子400mと800mで優勝、栗原悠人くん(2年)が男子200mで2位に入賞し、県大会出場を決めました。大きなストライドを武器に、県大会では2人ともに自己ベストを更新。惜しくも上位入賞には届きませんでしたが、課題を見つけ来季に向け走り続けます。

↓ 県外ナンバーの車も多く見られ、お気に入りの一品を求めて陶郷上野を訪訪。



第25回 上野焼秋の窯開き  
**秋の新作をそろえ2年ぶりの本格開催**

「上野焼秋の窯開き」が10月29日から3日間にわたり開催されました。会場となった上野焼陶芸館と上野焼協同組合11窯元に秋の新作を求めて約3千人の陶芸ファンが来場。隣接するふれあい市と茶房あがのとの「食と器のコラボ企画」で限定販売した器は3日間全て完売するなど、陶器のぬくもりと味覚を堪能していました。

FIWC九州「私の未来をのぞいてみよう」  
**自分らしさ大切にすることを育む機会に**

FIWC九州の大学生が「子どもたちが未来を見つける手がかりを創造しよう」をコンセプトとした企画を10月24日に金田分館で開きました。当日は「こどもの広場」代表・横山眞佐子さんによる講演とワークショップを実施。参加児童17人は、自分らしさを大切にすることをイベントを通して楽しみながら学んでいました。



↑ 子どもたちが自由に描いた絵が重なり合い、最終的に一本の大きな木が完成。

↓ 直接トスを上げ、スパイクでの体の使い方や目線などを指導する湊ひかり選手④と安田育代選手。



KANOA 福岡「バレーボール教室」  
**憧れのプロ選手から熱血指導**

女子バレーチーム「KANOA 福岡」が10月23日、町内の中学女子バレー部を対象にバレーボール教室を行いました。赤池中3人、方城中11人、金田義務後期11人が参加し、トスやレシーブなどの技術や練習方法などを約5時間指導。直接学ぶことができる貴重な機会に、生徒たちはうれしい表情を浮かべながらも、一つでも多く吸収しようと熱い眼差しを向けていました。

方城中学校「夢授業」  
**生き方の選択肢を広げた貴重な特別授業**

方城中で10月28日、社会の変革に対応できる力をつけるため、さまざまな職種20人と交流する「夢授業」が行われ、2年生51人が職業人と対面しました。各ブースに分かれ、人生選択の参考になればと生徒たちの質問にも丁寧に対応。池永圭汰くんは「資格があったり、やりがいや考え方などが聞けてよかった」と充実感をにじませました。



↑ ドローンパイロットやマジシャンなど新鮮な職業にも触れ、興味津々な生徒たち。

↓ ひまわりの種を入れた袋に平和を願うメッセージを添えて飛ばした児童たち。



伊方小学校「人権教室」  
**みんなで育てたひまわりの種に願い込め**

田川人権擁護委員協議会主催の「人権教室」が11月8日に伊方小で開かれました。人権擁護委員による紙芝居の読み聞かせで、思いやりを大切にする必要性を学んだ3年生36人。自ら育て収穫した人権の花・ひまわりの種をエコ風船に付けて大空へと放ち、それらを手にする人たちへ優しい心を育む種をまきました。